

魅力ある地域創造グループ基本方針

担当副理事長 杉村 秀之

南九州の拠点都市として明治初期には都城県が存在し、今も県境を越えた経済圏を形成する都城圏域は、先人達の英知と地域の資源を活かして、独自の風習や産品が地域の文化として根付いてきました。全国各地で地方創生への取り組みが加速する中、我々 J C がより具体的な指針のもと、自立自活できる持続可能な社会の実現に向けて、子どもたちに故郷と自身への誇りをもたせ、特性を活かした魅力ある地域を創造していく必要があります。

まずは、子どもたちの健全な心と体を育む為に、10回目を機にこれまで携わった参加者への敬意と感謝を表わすジュニアトライアスロン大会を開催し、地域の連携と目標の達成感から生まれる感動を体感できる大会にします。そして、次世代を担う子どもたちが自己を確立する為に、社会や自然の中で実体験できる機会を創出し、規範意識と責任感を併せもつ地域の宝を育成します。さらに、グローバル社会に順応できる子どもたちを育成する為に、個々のアイデンティティを育む事業を実施し、国際的視野と祖国愛を養います。また、人口急減の時代を迎えた我がまちの未来を明るく描く為に、圏域を越えた官民の連携を強化し、国内のみならず世界中の人々が訪れる仕組みを創造します。そして、昨年度実施したアクションの検証を踏まえた指針をより具体的に示す為に、圏域に住み暮らす市民意識の調査と分析を行い、広域連携を主とした行動計画を新たに盛り込みます。さらに、「肉と焼酎のふるさと・都城花火大会」を継続事業として確立する為に、拠点都市の機能と魅力を最大限に活かし、地域の発展に将来に渡り寄与できる中核事業へ進化させます。

心の豊かさと魅力を兼ね備えた「たのもしい人間」が織りなす真の市民意識変革運動によって、故郷と自身に誇りをもった青少年が地域の宝となって輝き、より具現化された行動計画を踏まえて自立的に発展していく、魅力溢れる都城圏域の未来を明るく照らします。